

枕崎市制施行70周年 記念式典



▲枕崎市制施行70周年記念式典の様子

9月1日、枕崎市は市制施行70周年を迎え、記念式典が市民会館で開催されました。式典の第1部は、枕崎中学校と桜山中学校の吹奏楽部によるオープニング演奏から始まりました。

前田市長の式辞、中原市議会議長のあいさつの後、県知事(代読)、国会議員、県議会議長(代読)や稚内市の工藤市長から祝辞

をいただきました。その後、市政に尽力された21の団体や個人を対象に市政功労者表彰を行い、また、市制施行70周年記念の公募事業として実施した公共下水道マンホールデザイン募集事業の表彰を行いました。

第1部のフィナーレでは、「火の神乙女太鼓 爽」とよきこいグルーブ「枕崎舞炎鯉」による祝い太鼓が披露されました。

式辞 (抜粋)

先人の想いを受け継ぎ
新しい時代の未来につなげる

枕崎市長 前田 祝成

令和元年9月1日、本日、枕崎市は市制施行70周年という大きな節目の時を迎えました。戦後間もない昭和24年9月1日、枕崎市は、大空襲による傷跡も生々しく、相次ぐ台風災害にも悩まされる苦境の中、鹿児島県では戦後初めて、敢然と市制を施行し、鹿児島川内、鹿屋に次いで県下4番目の市として誕生しました。以来、多くの先人たちの開拓者精神と先見性、たゆまぬ努力、そして何よりもふるさと枕崎を想う熱い想いと愛情によって、まちの基礎が築かれ、昭和から平成にかけて、数えあげれば切りのない幾多の苦難を乗り越え、今日の枕崎の繁栄を築き上げてまいりました。本日の市制施行記念日にあたり、改めて、先人たちの「苦労、ご努力に心から感謝し、敬意を表したいと存じます。



▲式辞を述べる前田市長

わが国を取り巻く社会経済情勢は厳しい状況にありますが、これから未来を生きる私たち枕崎市民は、そのふるさとを想う熱い想い、愛情を先人たちから受け継ぎ、さらに大きく育て、未来を描く力を磨き、成長していかなければなりません。すべての市民が一つになって、新しい時代の枕崎の未来につなげてまいりたいと考えております。

さて、平成の時代は、当初、バブル経済の真ただ中でありましたが、その後のバブル崩壊やリーマンショックなどにより、日本経済は長期間にわたる低迷を余儀なくされました。そのような厳しい時代環境の中でも、産業の中心となる水産業、とりわけ日本一の生産量を誇る枕崎鯉節は、厳しい時代環境の中でも日本国内でしっかりと存在感を示しており、水産都市「枕崎」の名を全国に馳せているところです。また、平成25年には「和食」がユネスコ世界文

化遺産に登録され、和食の原点である出汁の文化を支える枕崎鯉節の存在はさらに高まっております。平成29年には枕崎漁港の高度衛生管理計画を基本として、新たな枕崎地区特定漁港漁場計画が水産庁により策定され、総事業費約88億円の9年計画の整備プロジェクトが進行中です。

そのほか、お茶、電照菊、畜産、果実などの農業も産業の中心を担っています。平成23年の九州新幹線の全線開通や各種道路インフラ等の整備も進み交通網の発展が進んだ一方で、平成元年に2万9000人余りだった枕崎市の人口は令和元年には2万1000人余りとなり、この30年でおよそ8000人の人口が減少しています。少子高齢化は着実に進行しています。

そのような中、規制緩和等による大型店舗の進出やコンビニエンスストアの出店、情報化社会の発展によりインターネット通販の台頭などの流通改革が加速し、本市でも地元商店街が衰退するという厳しい状況ではありますが、若い経営者を中心に新しい業態店舗の出店や駅前から始まる賑わいづくりのイベントなど、まちを活性化させる動きも随所に見られており、将来のまちづくりへの息吹が感じられるところです。

今年3月、枕崎市のシンボルである立神岩を望む海沿いの火の神



▲オープニングの吹奏楽演奏



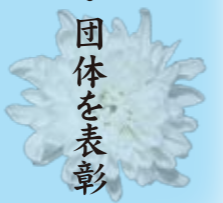
▲市政功労者表彰の様子



▲フィナーレを飾った祝い太鼓

市政功労者表彰

市政に尽力された21の個人・団体を表彰



- ◎地方自治部門(7名)
 - ・神園 征(第7、9代枕崎市長)
 - ・瀬戸口 嘉昭(第8代枕崎市長)
 - ・畠野 宏之(第38、39代枕崎市議会議長)
 - ・依積田 義信(第40、41代枕崎市議会議長)
 - ・新屋敷 幸隆(第43、44代枕崎市議会議長)
 - ・上迫 設男(元枕崎市農業委員)
 - ・宮路 益雄(元枕崎市消防団立神分団分団長)
- ◎教育文化部門(2名)
 - ・加藤 雄教(元枕崎市教育委員会教育長)
 - ・岸田 みさき(元枕崎市教育委員会教育委員)
- ◎社会福祉部門(1名)
 - ・依積田 修治(枕崎市主任児童委員)
- ◎産業経済部門(5名)
 - ・今給黎 稔(元枕崎市花き振興会会長、元枕崎市農
- ◎特別功労者(2名、4団体)
 - ・楠 昇(元枕崎市花き振興会会長、元枕崎市農業委員)
 - ・園田 栄(元農業関係団体役員、家畜診療獣医師)
 - ・笹原 謙次(元枕崎市茶業協議会会長)
 - ・牧野 政義(元漁業関係団体役員)
- ◎特別功労者(2名、4団体)
 - ・橋口 行則(元関東枕崎会会長)
 - ・田野尻 博美(本市教育環境の充実に貢献)
 - ・枕崎市漁業協同組合(本市水産業、水産加工業の発展に貢献)
 - ・枕崎水産加工業協同組合(日本一の鯉節生産地として本市産業発展に貢献)
 - ・枕崎市通り会連合会(商店街グルメの開発によるまちづくりに貢献)
 - ・火の神乙女太鼓 爽(全国各地の大会に出場し本市の知名度の向上に貢献)